

# 南信州広域連合第11回広域連合会議 結果報告

日時：令和5年2月16日(木) 15:45～16:40

場所：県飯田合同庁舎301号会議室(講堂)

【出席者】14市町村長(阿南町：副町長代理出席)、副管理者  
〔南信州地域振興局〕丹羽局長  
〔飯田建設事務所〕太田所長  
〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長  
〔下伊那郡町村会〕岡庭事務局長  
〔飯田広域消防〕有賀消防長・北澤消防次長兼総務課長・新井警防課専門幹  
〔飯田環境センター〕飯田事務長  
〔事務局〕吉川事務局長・小椋事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長  
野牧広域振興係長・伊藤庶務係長・松澤庶務係主事

## 1 開会…15:45

## 2 広域連合長あいさつ

私事ではあるが、先週新型コロナウイルスに感染し、一週間自宅療養をいただいた。町村長の皆様にもご迷惑をお掛けしたが、感染経路が分からないのが正直なところで、いつ、どこで罹患してもおかしくないと改めて実感した。皆様もご注意願いたい。新型コロナウイルスの状況としては、当地域の感染警戒レベルが15日を以ってレベル3となった。全体として落ち着きつつある状況の中で、医療機関や介護福祉施設等での感染は引き続き注意をするように呼び掛けていきたい。

## 3 協議・報告事項について

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策について

【飯田保健福祉事務所長】

\*最近の新型コロナウイルス等の感染状況等について説明。

- ・当地域の2月14日現在の新型コロナ陽性者発生状況は、2395/万人。県全体では、2213/万人。
- ・インフルエンザについて、1月下旬から徐々に感染者が増えているものの、マスク等、感染対策を徹底していることから、例年よりも感染者数が非常に少ない。

→ 質疑等なし

### (2) 稲葉クリーンセンター残さ処分委託業務の変更について(処分場変更) 【飯田環境センター事務長】

～資料No.1～

\*最終処分場(残さ処分先)の変更について説明。

- ・現在使用している最終処分場が埋立期間満了になることから変更となる。

変更前：新草津ウェストパーク一般廃棄物最終処分場(群馬県吾妻郡草津町)

変更後：小野ウェストパーク一般廃棄物最終処分場(福島県田村郡小野町)

(主な意見等)

阿智村：変更に伴い処分場までの距離がおおよそ倍となるが、単価の変更はあるか。

飯田環境センター：変更前は29,800円(税抜)、変更後は31,200円(税抜)となります。

(3) 令和5年度看護師等確保対策修学資金貸与者募集について 【地域医療福祉連携課長】

～資料No. 2～

\* 令和5年度南信州広域連合看護師等確保対策修学資金貸与者募集要項について説明。

- ・ 例年からの変更点として、募集期間を長く設けることとした。例年、3月中旬～4月中旬にかけて約1か月の募集期間としていたが、学校側から4月中旬の締切りでは、入学した学生への周知や学生が申請書類を準備する期間が短いとの意見があったため。
- ・ 今後、市町村配布の広報誌等へも記事を掲載し、周知を図っていく。

【令和5年度募集要項の概要】

◇対象者

- ・ 看護師等の養成施設（保健師助産師看護師法の規定による）に在学する者で免許取得後、直ちに飯田下伊那地域の医療機関及び介護・福祉関係機関において、看護師等の業務に従事する意思を有する者。
- ・ 成績が優秀であり、かつ、心身が健全な者であること。

◇貸与予定人数

- ・ 新入生及び在校生合わせて10人以内。

◇募集期間

- ・ 令和5年3月13日（月）～令和5年4月25日（火）

→ 質疑等なし

(4) 伊那谷自治体会議の報告について 【事務局長】 ～資料No. 3～

\* 2月10日にオンライン開催された伊那谷自治体会議の内容について報告。当日は事務局が用意した素案を基に、以下の協議事項等について話し合った。

◇協議事項

- ・ 伊那谷の強みを活かした重点的な取り組みについて
- ・ 企業誘致の今後の進め方について

◇報告事項

- ・ リニア長野県駅（仮称）の駅前空間の検討状況について
- ・ リニア長野県駅の広域的な利活用検討の進め方について
- ・ 戦略的チャレンジの成果・課題・今後の方向性について

(主な意見等)

連合長：大きな方向性として当地域の特性を活かしていくということで、再生可能エネルギーをはじめとした環境の取り組みを県の中でも特にこの伊那谷地域でしっかりとやっていくという話や、移住者の促進を図るためにも高等教育の充実を図ることが重要などの議論がされた。知事からは、会議ばかりではなくスケジュール感を持って具体的な取り組みをしていくべきだとの話もあった。

南信州広域連合としても、関係地域と歩調を合わせ、協力をして進めていきたい。

阿智村：リニア駅周辺整備等についてはさらに研究を重ね、長野県駅は他県の駅とは違う魅力あるものにできればと思う。

→ 質疑等なし

(5) 飯田広域消防本部から

【警防課専門幹】 ～資料No. 4-1～

\*令和4年消防統計（令和4年1月1日～令和4年12月31日）の概要について説明。

・火災件数は、61件（前年比 △12件）。

→統計史上、最も少ない。

・救急件数は、7,735件（前年比 +786件）。

→統計史上、最多の件数。傷病程度別に見ると、軽症者の搬送が増加傾向にあり、救急車の適正利用等の呼び掛け等を行っていきたい。

・救助件数は、100件（前年比 +11件）。

→事故種別で見ると、交通事故が最も多い。ヘリコプターの要請件数は5件。

【消防次長兼総務課長】 ～資料No. 4-2、4-3～

\*高規格救急自動車の更新整備及び市町村別火災発生状況等について説明。

・伊賀良消防署に配置の高規格救急自動車を更新整備。救急救命士が使用する高度救命処置用資器材を搭載し、振動を軽減する防振架台を備えている。車内は隊員が活動に必要な広いスペースを有しており、迅速で確実な救急搬送に資する車両となっている。平成23年に配置された旧車両については、今後も伊賀良消防署の非常用救急自動車として使用していく。

・令和5年2月10日現在の火災発生件数は、12件（昨年同日比 +1件）。

・たき火等、屋外での火の取扱いに起因する火災は8件（昨年同日比 +3件）。春先にかけて空気が乾燥するなど火災の起こりやすい気象状況となるため、市町村や消防団等、関係機関にご協力をいただき、広報活動を主に火災予防に努めていく。

・高規格救急自動車の寄贈の件について、昨年、高森町在住の方より高規格救急自動車及び救命資器材の寄附の申し出をいただいた。現在、車両等の整備が順調に進んでおり、3月16日に消防本部にて受納式を行う予定。

→ 質疑等なし

(6) その他 【事務局次長】

\*広報チラシの配布について

飯田文化会館ニュースレター及び飯田市立病院Newsを配布しているのでご覧いただきたい。

(主な意見等)

連合長：新しい文化会館を整備するにあたり、基本理念、基本構想等について新文化会館整備検討委員会の中で議論を進めている。今回の飯田文化会館ニュースレターVol.3では、第4回の検討委員会の内容について掲載しており、是非ご覧いただければと思う。

4 長野県から

【南信州地域振興局局長】

\*長野県総合5か年計画について

・2月15日開会の長野県議会（令和5年2月定例会）に議案提出された。今回の地域計画の策定にあたっては、より実践的な計画になるよう心掛けてきた。地域振興局としてはこれからの5年間、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通効果を最大限に活かすための最重要期間と位置づけ、取り組んでいきたいと考えている。また、昨年11月にユネスコ無形文化遺産登録がされた風流踊り等民俗芸能の保存・継承についても力を入れていくよう計画に示している。さらには南信州の強みである森林資源を活かした当地域ならではの里山を活用した観光コンテンツの研究や事業化、主伐・再造林による林業の活性化に取り組んでいく。各市町村長の皆様をはじめ、地域の皆様と共に取り組んで

いくので引き続きご協力願いたい。

\* 地域振興局長からの提案、意見等の予算への反映について

- ・ 長野県の令和5年度当初予算編成にあたり、地域計画の推進や複数の事業を地域の日線から一体的に実施する事業提案、また本庁部局が実施している事業の地域の取り組みを全県的に広げるための現行事業への意見要望を本庁に対して行っていたもの。リニアを活かした地域づくり、主伐・再造林の推進と効果的な獣害対策モデルについてを提案項目として挙げている。

【飯田建設事務所長】

\* 先週、南岸低気圧の影響により当地域でも今年一番の積雪となった。通行止めや渋滞などが様々な影響が生じたが、今後これらの対応について国やNEXCOと検証をして有事に備えていく。

(主な意見等)

連合長：検証について、市町村にも照会があるか。

飯田建設事務所長：通行止めにより住民の方々の生活にも支障をきたしたかどうかについて、照会をさせていただきたいと思っている。

## 5 当面の日程について

2月20日	広域連合議会総務産業委員会
2月21日	広域連合議会医療福祉委員会 広域連合議会消防環境委員会
2月28日	広域連合議会第1回定例会閉会日及び全員協議会
3月17日	広域連合会議

## 6 その他

特になし

## 7 閉会…16:40